

アクティブラーニング型 授業をデザインする

大学の授業に
本当に
アクティブラーニングは
必要か？

「学習者中心の授業への転換」として大学教育におけるアクティブラーニングの推進が叫ばれるようになって久しく、近年は初等・中等教育における活用についても言及されています。

しかしそもそも「アクティブラーニング」とはいったい何なのでしょう。グループ学習や体験学習等の手法のことなのか、やってみなければどうしたらいいのかよくわからない、講義形式の授業はしてはいけないのか…といった疑問をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

今回は、**アクティブラーニングの本質的な考え方から、アクティブラーニング型授業のコースデザイン、学生のモチベーションの上げ方**などについて、ワークショップを交えたセミナーを開催します。アクティブラーニングについて基礎から知りたい方から様々な手法を効果的に活用したい方まで、どうぞお気軽にご参加ください。

平成29年

7月29日 **土** 13:30-15:00

中央キャンパス文学2号館5階 L2-51教室

- 対象：全教職員（職員の参加も歓迎します）
- 参加希望の方は**教育開発支援室**にご連絡ください
（15名程度までの定員としますので、充足次第申し込みを締め切りますが、ご興味のある方はまずはご一報を！）

内容

前半：講演

アクティブラーニングの本質的な考え方、本当に有効なのか、具体的な活用方法等についてご講演いただきます。

後半：ワークショップ

参加者の実際の授業をもとに授業の目的や受講学生・クラスの特徴に応じたアクティブラーニングの活用について、ワークシートを用いた実習を行い、情報共有及び意見交換を行います。（職員の方は自身の業務や委員会活動等を用います）

講師

山口 和也 氏

大阪大学全学教育推進機構 教育学習支援部 教授、ガイダンス室長、
（兼）理学研究科 教授

《経歴》 京都大学大学院工学研究科 博士課程修了（工学博士）
専門 化学。

大阪大学教養部、理学研究科を経て、2011年4月より現職
教育学習支援センター兼任教授（2011年～2016年）
2016年よりガイダンス室長

研修会の申し込み・問い合わせ先 **教育開発支援室**